

自然文化園

もつすべ見ぶん
ひとつ目5万本アジサイ園開園



6月15日(水)〜7月15日(金)、自然文化園でアジサイ園を開園。約2畝の敷地一面に「ヤマアジサイ」や「ガクアジサイ」など60品種のアジサイが咲き乱れます。園内が一望できる鑑賞デッキや休憩所からも、一部に「ヤマアジサイ」など60品種のアジサイが咲き乱れます。園内が一望できる鑑賞デッキや休憩所からも、一部に「ヤマアジサイ」など60品種のアジサイが咲き乱れます。

6月15日(水)〜7月15日(金)、自然文化園でアジサイ園を開園。約2畝の敷地一面に「ヤマアジサイ」や「ガクアジサイ」など60品種のアジサイが咲き乱れます。園内が一望できる鑑賞デッキや休憩所からも、一部に「ヤマアジサイ」など60品種のアジサイが咲き乱れます。

6月15日(水)〜7月15日(金)、自然文化園でアジサイ園を開園。約2畝の敷地一面に「ヤマアジサイ」や「ガクアジサイ」など60品種のアジサイが咲き乱れます。園内が一望できる鑑賞デッキや休憩所からも、一部に「ヤマアジサイ」など60品種のアジサイが咲き乱れます。

市功労者 5人を表彰

市では、市制記念日の5月27日、市の発展に貢献された5人を市功労者として表彰しました。これで、市功労者は86人(物故者を含めると225人)になりました。

今回の表彰者は次の皆さんです。
 ◆伊田悦子氏(55歳、白浜台) 舞鶴市議会議員(平成14年〜現在)
 ◆尾関善之氏(64歳、南田辺) 同(14年〜現在)
 ◆桐野正明氏(63歳、倉谷) 同(14年〜現在)
 ◆小杉悦子氏(54歳、大俣) 同(14年〜現在)
 ◆福村暉史氏(69歳、吉坂) 同(14年〜現在)
 《秘書課》

市では今後、公共施設の利便性の向上や活性化に向けた活用方法など、指針を踏まえ検討を進めていきます。

指針の詳しい内容は、情報公開コーナーで閲覧できます。市ホームページにも掲載。

詳しくは、地域振興課(☎66・1019)へ。

市の人口と世帯数(平成23年5月1日現在推計)

●人口 88,377人(前月比プラス409人)

●世帯数 35,421世帯(前月比プラス254世帯)

※確定値が公表(10月ごろ予定)されるまで男女別集計は行いません。

まちの話題

手づくり木彫作品展示会

6月3日(金)〜5日(日) 9時30分〜17時(5日は16時まで)、西駅交流センター。約150点を展示。入場無料。園木彫の会ことぶきの柏原さん(☎75・1567)

「相続」講演会&相談会

6月4日(土)、西総合会館。
 ◆講演会「遺言のススメ」…13時〜14時30分。講師は公証人の加地誠さん
 ◆相談会…14時40分〜16時30分。相続に関する具体的な悩みに専門家が応じる。無料。申し込みは、電話で相続サポートネットワーク舞鶴(☎76・1900)へ。

大浦まつり・朝市

6月5日(日) 8時〜13時、JA京都にのくに舞鶴東支店。大浦地区の農産物や海産物の販売のほか、もちつきや磯焼きなどのうまいもんコーナー、ちびっこ輪投げ大会など。入場無料。園大浦振興協議会の福岡さん(☎68・0117)

岡田中まつり

6月5日(日) 10時〜15時、旧岡田小学校。岡田小児童や地元合唱団による合唱、吹奏楽団による演奏のほか、リサイクル・展示コーナーなど。農業委

員による農地相談も実施。入場無料。加佐地区内で送迎バスを運行。園同実行委員会の亀井さん(☎83・0786)

ととのいえ 天然岩がきまつり

6月12日(日) 11時〜14時、竜宮浜「ととのいえ」。天然の岩がきやサザエ、アワビの販売のほか、大漁鍋の振る舞い、お楽しみ抽選会など。園ととのいえ(☎68・0013)

市長の一日お父さん

6月19日(日) 10時〜12時、舞鶴文化公園。対象は母子家庭の親子。申し込みは、6月10日(金)までに電話かファクスで母子福祉会の常塚さん(☎・FAX 63・8838)へ。

陶芸館(☎64・3263)

いずれも対象は小・中学生とその保護者(子どものみの参加も可)。

《親子で風鈴に絵を描こう》6月26日(日) 10時〜11時と14時〜15時。先着各30人。参加費700円。申し込みは、電話か同館窓口で。

《親子陶芸教室》7月2日(土)と3日(日) 9時30分〜11時30分と13時30分〜15時30分。定員各30人(多数の場合抽選)。参加費600円(保護者は700円)。申し込みは、往復はがき(〒625-0015 市内字岡安3-2)に住所、参加者全員の氏名、学年、電話番号、希望の日時(第2希望まで)を記入し、6月22日(水)必着で。



▲夏の地産地消グルメ「舞鶴岩がき井」

詳しくは、舞鶴観光協会事務局(観光課内、☎66・1024)へ。

ププリの食感 舞鶴岩がき井 キャンペーンがスタート

舞鶴かきグルメキャンペーン協議会(舞鶴観光協会、府漁業協同組合、(社)水産協会)では、期間限定の「舞鶴岩がき井キャンペーン」をスタート。新鮮でププリの舞鶴産の岩がきとシコンコとした食感の舞鶴かきまぼこを使った「舞鶴岩がき井」を市内14店舗で提供。

「舞鶴産の岩がき」と「舞鶴かきまぼこ」を使用した「ププリ」感を損なわないように、おおいしく何度も食べたくなることを条件に各店舗が独自の調理方法で提供しています。料金は、1,000円(税込)。期間は8月31日(水)まで。

3月11日に発生した東日本大震災の後、地震や津波により被災された人や、東京電力福島原子力発電所の事故により避難を余儀なくされている人の力になるため、募金やボランティア活動といった支援が全国各地で繰り広げられています。人と人のつながりが復興への大きな力になっていくことを実感し、とても心強い気持ちになります。

その一方で、原子力発電所の事故に関わるさまざまな「一人への風評被害」も起きています。福島県から他県へ避難してきた子どもが、地元の子どもから「放射線がうつる」といって避けられたり、福島県からの避難者

3月11日に発生した東日本大震災の後、地震や津波により被災された人や、東京電力福島原子力発電所の事故により避難を余儀なくされている人の力になるため、募金やボランティア活動といった支援が全国各地で繰り広げられています。人と人のつながりが復興への大きな力になっていくことを実感し、とても心強い気持ちになります。

その一方で、原子力発電所の事故に関わるさまざまな「一人への風評被害」も起きています。福島県から他県へ避難してきた子どもが、地元の子どもから「放射線がうつる」といって避けられたり、福島県からの避難者

3月11日に発生した東日本大震災の後、地震や津波により被災された人や、東京電力福島原子力発電所の事故により避難を余儀なくされている人の力になるため、募金やボランティア活動といった支援が全国各地で繰り広げられています。人と人のつながりが復興への大きな力になっていくことを実感し、とても心強い気持ちになります。

その一方で、原子力発電所の事故に関わるさまざまな「一人への風評被害」も起きています。福島県から他県へ避難してきた子どもが、地元の子どもから「放射線がうつる」といって避けられたり、福島県からの避難者